

## 意見提出様式

### 「平成28年度診療報酬改定に係るこれまでの議論の整理(現時点の骨子)」 への意見募集

このたびは、「平成28年度診療報酬改定に係るこれまでの議論の整理(現時点の骨子)」にご意見を提出いただき、ありがとうございます。以下の要領に沿ってご意見を提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

提出されたご意見の内容について、確認させていただく場合がございますので、連絡先のご記入をお願いします。

氏名 \_\_\_\_\_ 郵便番号 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

#### 1. ご自身の属性について (※ ①・②に必ず全てご記入ください。)

①年齢: \_\_\_\_\_ (※ 下記1～5より対応する番号をご記入ください。)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳未満   | 2. 20歳～39歳 | 3. 40歳～64歳 |
| 4. 65歳～74歳 | 5. 75歳以上   |            |

②職業: \_\_\_\_\_ (※ 下記1～11より対応する番号をご記入ください。)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 医師        | 2. 歯科医師         |
| 3. 薬剤師       | 4. 看護師          |
| 5. その他の医療従事者 | 6. 会社員(医療関係の企業) |
| 7. 会社員(6以外)  | 8. 自営業          |
| 9. 学生        | 10. 無職          |
| 11. その他( )   |                 |

## 2. ご意見について

### ○ ご意見を提出される点

(※ 次ページの項目一覧をごらんになり、番号を一つ選択の上、ご記入ください。  
なお、複数の項目についてご意見をいただける場合は、様式をコピーの上、項目番号ごとにシートを分けてご記入ください。)

◆項目番号: \_\_\_\_\_

◆内 容 : \_\_\_\_\_ について

※(項目番号・内容を必ずご記入ください。)

### ○ 上記項目に対するご意見

# 「平成28年度診療報酬改定に係るこれまでの議論の整理(現時点の骨子)」項目

※ 「平成28年度診療報酬改定の基本方針」より整理

## 1 「4つの視点Ⅰ」地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携に関する視点

項目番号	内容
1-1	医療機能に応じた入院医療の評価について
1-2	チーム医療の推進、勤務環境の改善、業務効率化の取組等を通じた医療従事者の負担軽減・人材確保について
1-3	地域包括ケアシステム推進のための取組の強化について
1-4	質の高い在宅医療・訪問看護の確保について
1-5	医療保険制度改革法も踏まえた外来医療の機能分化について

## 2 「4つの視点Ⅱ」患者にとって安心・安全で納得できる効果的・効率的で質が高い医療を実現する視点

項目番号	内容
2-1	かかりつけ医の評価、かかりつけ歯科医の評価、かかりつけ薬剤師・薬局の評価について
2-2	情報通信技術（ICT）を活用した医療連携や医療に関するデータの収集・利活用の推進について
2-3	質の高いリハビリテーションの評価等、患者の早期の機能回復の推進について
2-4	明細書無料発行の推進について

## 3 「4つの視点Ⅲ」重点的な対応が求められる医療分野を充実する視点

項目番号	内容
3-1	緩和ケアを含む質の高いがん医療の評価について
3-2	「認知症施策推進総合戦略」を踏まえた認知症患者への適切な医療の評価について
3-3	地域移行・地域生活支援の充実を含めた質の高い精神医療の評価について
3-4	難病法の施行を踏まえた難病患者への適切な医療の評価について
3-5	小児医療、周産期医療の充実、高齢者の増加を踏まえた救急医療の充実について
3-6	口腔疾患の重症化予防・口腔機能低下への対応、生活の質に配慮した歯科医療の推進について
3-7	かかりつけ薬剤師・薬局による薬学管理や在宅医療等への貢献度による評価・適正化について
3-8	医薬品、医療機器、検査等におけるイノベーションや医療技術の適切な評価について
3-9	DPCに基づく急性期医療の適切な評価について

#### 4 「4つの視点Ⅳ」 効率化・適正化を通じて制度の持続可能性を高める 視点

項目番号	内容
4-1	後発医薬品の使用促進・価格適正化、長期収載品の評価の仕組みの検討
4-2	退院支援等の取組による在宅復帰の推進
4-3	残薬や重複投薬、不適切な多剤投薬・長期投薬を減らすための取組など 医薬品の適正使用の推進
4-4	患者本位の医薬分業を実現するための調剤報酬の見直し
4-5	重症化予防の取組の推進
4-6	医薬品、医療機器、検査等の適正な評価